

聖マリアンナ医科大学(前期) 英語

2025年 2月 6日実施

[I]

[1]

- (a) 夏のように食糧が豊富な時期に、好きな餌を自由に捕食し冬に備えて栄養を蓄えるのか、それとも冬のように食糧が欠乏する時期にのみ好みに関わりなく捕食する餌の種類を増やすのか、これら2つの説は互いに矛盾しているので同時に成立し得ないということ。
- (b) イエローストーンの草食動物が、一年を通じて生き残るためにいかにして十分な食糧を得ているのかという問題。

[2] (a) (あ) GPS

(い) bison, elk, deer, bighorn sheep, and pronghorn antelope

(う) metabarcoding

(え) fecal samples

(b) (i) b

(ii) d

[3] 夏の間には野を駆け回って捕食する餌の範囲を広げ、冬は入手可能な食糧の限られた谷の中で過ごす小型動物と異なり、冬の間も食糧をめぐった競争を避けられる大型動物は、深い雪の中に進出し小型動物の手には届かないような特定の植物を見つけに行くということ。

(120字)

[4] いずれの仮説も部分的に正しいが、各動物種は身体の大きさに応じて異なる戦略をとっており、どちらの戦略が生存に適するかは種によって異なること。(69字)

[5] 今回の研究が、環境保護従事者に対して、各草食動物種の餌となる植物をよりよく保護するにあたっての参考となり、各動物種が1年を通じて生き延びる手助けになること。

[解説]

[1] Thisの内容は、直前に書かれている *these two ideas couldn't be true at the same time because ... in harsh winter* という部分を引用する形で説明すればよい。ただし、*expand diets in advance* や *scarcity forces them to* は、第2段落で既に説明した2つの仮説を踏まえた簡潔な表現となっているため、この部分をただ直訳するだけでは説明不足となる。第2段落第4~5文に依拠し、2つの仮説を具体的に説明する形で作成したものが上記の解答となる。ただし、解答欄のサイズが不明であるため、この字数が入りきらない場合はもう少し簡素な記述とすることもあり得る。*the question* の内容はもちろん、*of* 以降の記述に依拠して説明すればよい。

[2] (a)

(あ) 第5段落第1文に *... tracked the animals with GPS* とあることから判断できる。

(い) イエローストーンの研究者らによる研究対象は、第4段落第1文に明示されている。

(う) 第5段落第2文に、*using a ... technique called metabarcoding* とあることから判断できる。

(え) ブラウン大学の研究者らによる研究対象は、(い)のように動物名などで書かれていない

ため分かりづらいが、表の下にある注釈に Here, “Subjects or Materials” could be people, animals, plants, tissues, and other things analyzed in the research とあることから、第 5 段落第 2 文にある fecal samples 「糞便のサンプル」がこれに該当すると判断できる。

[3] 下線部は大型動物の行動戦略について述べた一節だが、「比較対象に関することも明らかにすること」と指示があることから、その逆の行動戦略をとる小型動物についても言及する必要がある。小型動物の行動戦略はこの段落の第 1 文、大型動物の行動戦略は第 3 文にて説明されているため、それを対比する形で述べればよい。

[4] conflicting hypotheses とはもちろん、[1]で明示された、動物が食糧不足を乗り切るための行動戦略として提唱された 2 つの仮説を指している。結局この 2 つの仮説のうちどちらが正しかったのかという結論が、第 8 段落にて述べられている。特に第 3 文に “both hypotheses were right, but in different ways and at different times”, 第 5 文に “they should have asked when each method works best for different groups of animals” とあることから、「いずれの仮説も正しさを含むが、どちらの仮説が適用されるかは動物種により異なる」こと、またそれを決めるファクターが[3]の解説でも述べた通り動物の「大きさ」であることを説明すればよい。

[5] 第 7 段落第 3 文に The researchers hope ... と語られていることから、それ以降の内容をまとめればよい。

[II]

1. (d) 2. (c) 3. (d) 4. (c) 5. (b)

[解説]

1. 何故人は「右脳派」「左脳派」のどちらかであるという考えは神話（信憑性のない話）なのか。

正解は d 「脳のスキャンを含み、過度に単純化された右脳、左脳の優位性に対する考えを示すような証拠は科学的研究の中に一つも存在しない」。第 1 段落最終文に該当箇所がある。

2. 下線部 (A) の句が示すのは何か。

下線部は「この separation」となっており、単純な語の意味では分離・分類などであるが、後続する述部は「…よりも遙かに複雑である」となるため、意味を補って、左脳と右脳がそれぞれ別の働きをする区分、などと考えたい。正解は c 「脳の両半球の間にある得意分野の種類区分」。

3. 第③段落から、何を理解できるか？

該当段落は、重度の痙攣を治療するため脳橋を切断した患者の研究から、右脳左脳の働きに関する知見の多くが得られたことから始まり、右脳左脳を切り離した後も脳の領域のほとんどで正常な機能を保ったことと、その後の研究で、脳のそれぞれの半球は異なる情報の処理に特化（主に担う）していることが示されている。正解は d 「脳の二つの側はそれぞれに焦点を当てた情報処理をする」。

4. 第⑤段落から、何を理解できるか？

第⑤段落では、**Barnum Effect** と呼ばれる心理的現象が描写されるが、これは、誰にでも当てはまるような情報が書かれているにもかかわらず、人は性格の描写を見るときに他者よりも自分に当てはまると考える効果のことを示す。続く例では、特に肯定的なことが書かれていると人はその描写を、たとえそれがまがい物であっても、きわめて正確な描写であると考えることが書かれている。正解は c 「人々は、特にそれが肯定的内容の場合、曖昧な性格診断のことばを信じがちである」。

5. 下線部 (B) の語が示すのは何か。

指示代名詞 **this** は、前文の **because** 節の目的語を受けている。正解は b 「単純で科学的に見える我々の性格の説明のしかた」。

[Ⅲ]

I.

1. (d) 2. (c) 3. (a) 4. (b) 5. (c)

II.

1. (f) 2. (d) 3. (b) 4. (i) 5. (h) A. (d)

[解説]

I.

1. 注意事項の最初の項目は、「外来種を日本に持ち込んではいけない」というタイトルであり、(d) 「海外渡航をする際には」外国から動物を持ち込むのを控えましょう、となる。
2. 靴のソール（裏側）に、意図せず付着して持ち込むものにも注意しましょう、ということから、(c) 「知らないうちに付着した土や植物の種」が適する。
3. 注意事項の 2 つ目では、「野に放たれた動物の環境への影響は予測不能である。責任をもって動物を最後まで面倒を見ることが重要」と述べられている。したがって、(a) 「動物を遺棄してはいけない」が適する。
4. 3. の設問でも解説したとおりであり、(b) 「ペットを飼うという決断をする前に、ペットの命ある限り面倒が見えるかどうか慎重に考えましょう」が適する。
5. 注意事項の 3 つ目では、動物の生息域を「拡大させてはいけない」ということが述べられており、その原因を述べた、(c) 「人間は、動物が本来の生息域を超えて拡大する原因をしばしば作っている」が適する。

II.

1. オンライン上であっても、相手は生身の人間であるという前文を受けているので、(f) 「投稿の前に、同じ言葉があなたに投げかけられた場合にどう感じるか考えてみよう」が適する。
2. この項目では、言葉が人を傷つけることが述べられている。したがって、「悪口を言うこと」と (d) 「有意義なフィードバックをすることとは別物だ」が適する。

3. この項目では、匿名であるから誹謗中傷が許されるわけではない事が述べられており、(b)「直接であったり自分の名前が明かされた状況では使わないような攻撃的な言葉を使うのは避けよう」が適する。
4. 投稿前に一呼吸置こうという事が述べられており、それは、(i)「一度言ってしまったこと」は撤回できないからである。
5. 投稿前に頭を冷やすためには、いったんインターネットから離れる、(h)「気持ちを整理するために直接誰かと話をする」といった方策が考えられる。
- A. 以上より、この文章のタイトルとして適切であるのは、(d)「有害なコメントを投稿したり拡散させたりするのを防ぐために留意すべきことがら」であることは明らか。

【総評】

例年通りの3題構成で、長文2本(記述式+客観式)の分量および難易度も平年並み。特に大問2の長文は非常に読みやすく、失点を避けたい。大問2は昨年度の問題数8問(2つ選べ、があったので実質9問)に対し今年度は5問と大幅に減少し、1問あたりの配点が上がったことが推定される。大問3は昨年度までは、与えられたシチュエーションに対応する英文として正しいものを選ぶ、会話文問題の亜種のようなものが出題されていたが、今年度は100語少々の短いパッセージ中の空所を文脈に合うよう補う読解問題に変更された。昨年度までの形式よりもむしろ解答の根拠を見定めやすくなり、難易度は低減したと言えよう。昨年度比で易化と判断し、一次通過ラインは75%程度か。

昭和大学医学部[Ⅱ期]模試2.20(木)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月17日(月) 20:00
会場 東京/大阪/福岡

聖マリアンナ医科大学[後期]模試2.23(日)

科目 英/数/化/生/物 申込締切 2月20日(木) 20:00
会場 東京/大阪/福岡

対象 高3生・高卒生対象 料金 6,600円(税別)



※内容は変更になる場合がございます。最新の情報はホームページよりご確認ください。↑

医大別直前講習会 受付中

後期・Ⅱ期

- 獨協医科大学
- 聖マリアンナ医科大学
- 日本大学
- 埼玉医科大学
- 昭和大学
- 日本医科大学



◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください。↑

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校

YMS

03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校

0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE 登録

